一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2023 年度　第 1 回　高大連携委員会　次第

日　時：2023 年 5 月 10 日（水）13:00～14:30
場　所：オンライン会議（ZOOM）

1.　開会
　1)　委員長・副委員長挨拶
　2)　委員紹介　（資料 1）
　3)　大学コンソーシアムひょうご神戸について　（資料 2）

2.　協議事項
　1)　2023 年度事業計画（詳細）・予算について　（資料 3）
　2)　その他

3.　報告事項
　1)　大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページでの情報発信について
　2)　その他

4.　意見交換　（資料 4）

5.　連絡事項
　1)　定時総会　日時：6 月 7 日（水）15：00～16：30
　2)　2023 年　高大連携委員会の開催予定・主な議題について
　　第 1 回（5 月）：2023 年度高大連携委員会　事業計画（詳細）・予算について
　　第 2 回（10 月）：2023 年度プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）について
　　第 3 回（12 月）：2023 年度事業自己評価（案）について
　　第 4 回（翌 2 月）：2024 年度事業計画・予算（案）
　　第 5 回（翌 3 月）：2023 年度事業報告・決算（案）

6　閉会

以上

＜配布資料＞
資料 1　：2023 年度高大連携委員会名簿
資料 2-1：大学コンソーシアムひょうご神戸について
資料 2-2：中長期計画Ⅱ期　基本方針・概要図
資料 2-3：大学コンソーシアムひょうご神戸　中長期計画Ⅱ期（2022～2026）取組課題について
資料 2-4：大学コンソーシアムひょうご神戸　中長期計画Ⅱ期（2022～2026）
資料 2-5：事業委員会の運営に関する申し合わせ
資料 3-1：高大連携委員会　事業計画（詳細）・予算（案）
資料 4-1：2014 年度～2022 年度「ひょうご高校大学コンソーシアム」開催内容について
資料 4-2：高大連携委員会　回答フォーマット

以上

大学コンソーシアムひょうご神戸について

大学コンソーシアムひょうご神戸
The Consortium Universities in Hyogo
可能性をつなぐ

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

設立

2006年6月12日（2016年4月1日　一般社団法人を設立）

正会員

39校（31大学、7短期大学・短期大学部、1高等専門学校）

特別会員

1団体（独立行政法人 日本学生支援機構）

賛助会員

35社

学生数

約11万人

趣旨

国際性を中核に、兵庫県の特性をいかし、教育水準の向上と地域振興に貢献

事業

国際交流、学生交流、教育連携、キャリア
高大連携、FD・SD事業を中心に、
大学間連携、産官学連携を展開

大学コンソーシアムひょうご神戸　役員

2023年4月1日現在

理事長	甲南大学	学長	中井　伊都子
副理事長	神戸大学	学長	藤澤　正人
理事	関西国際大学	学長	濱名　　篤
	神戸学院大学	学長	中村　　恵
	神戸市外国語大学	学長	田中　　悟
	神戸親和女子大学	学長	三井　知代
	神戸常盤大学	学長	濵田　道夫
監事	大手前短期大学	学長	福井　洋子
	神戸女学院大学	学長	中野　敬一
参与	兵庫県知事		齋藤　元彦
	神戸市長		久元　喜造
	独立行政法人日本学生支援機構	理事長	吉岡　知哉

大学コンソーシアムひょうご神戸　加盟校一覧（39校）

	法人名		正会員名
1	独立行政法人　国立高等専門学校機構	1	明石工業高等専門学校
2	学校法人　芦屋学園	2	芦屋大学
3	学校法人　大手前学園	3	大手前大学
		4	大手前短期大学
4	学校法人　濱名山手学院	5	関西国際大学
5	学校法人　関西金光学園	6	関西福祉大学
6	学校法人　関西学院	7	関西学院大学
		8	聖和短期大学
7	学校法人　甲南学園	9	甲南大学
8	学校法人　甲南女子学園	10	甲南女子大学
9	国立大学法人　神戸大学	11	神戸大学
10	学校法人　都築学園	12	神戸医療未来大学
11	学校法人　海星女子学院	13	神戸海星女子学院大学
12	学校法人　神戸学院	14	神戸学院大学
13	学校法人　谷岡学園	15	神戸芸術工科大学
14	学校法人　八代学院	16	神戸国際大学
15	公立大学法人　神戸市外国語大学	17	神戸市外国語大学
16	公立大学法人　神戸市看護大学	18	神戸市看護大学
17	学校法人　松蔭女子学院	19	神戸松蔭女子学院大学
18	学校法人　神戸女学院	20	神戸女学院大学

	法人名		正会員名
19	学校法人　行吉学園	21	神戸女子大学
		22	神戸女子短期大学
20	学校法人　親和学園	23	神戸親和女子大学
21	学校法人　玉田学園	24	神戸常盤大学
		25	神戸常盤大学短期大学部
22	学校法人　神戸薬科大学	26	神戸薬科大学
23	学校法人　頌栄保育学院	27	頌栄短期大学
24	学校法人　園田学園	28	園田学園女子大学
		29	園田学園女子大学短期大学部
25	学校法人　平成医療学園	30	宝塚医療大学
26	学校法人　弘徳学園	31	姫路大学
27	学校法人　獨協学園	32	姫路獨協大学
28	学校法人　睦学園	33	兵庫大学
		34	兵庫大学短期大学部
29	学校法人　兵庫医科大学	35	兵庫医科大学
30	国立大学法人　兵庫教育大学	36	兵庫教育大学
31	兵庫県公立大学法人	37	兵庫県立大学
		38	芸術文化観光専門職大学
32	学校法人　中内学園	39	流通科学大学

大学コンソーシアムひょうご神戸　賛助会員一覧（35社）

	企業名		
1	株式会社　あみだ池大黒	18	日本テクノロジーソリューション株式会社
2	株式会社ECC	19	株式会社日本ビジネスデータープロセシングセンター
3	株式会社池田泉州銀行	20	株式会社ノーリツ
4	エム・シーシー食品株式会社	21	白鶴酒造株式会社
5	株式会社学生情報センター	22	株式会社パソナグループ
6	神戸商工会議所	23	バンドー化学株式会社
7	神戸トヨペット株式会社	24	兵庫県経営者協会
8	株式会社サンエース	25	富士通Japan株式会社
9	株式会社ＪＴＢ 神戸支店	26	株式会社ブレックス
10	株式会社シマブンコーポレーション	27	丸善雄松堂株式会社
11	医療法人社団星晶会	28	ミズノ株式会社
12	センコー株式会社	29	株式会社みなと銀行
13	株式会社TAT	30	株式会社立成社
14	東洋証券株式会社	31	株式会社レック
15	ナガセケムテックス株式会社	32	株式会社ロジックアンドサプライズ
16	日本ジッパーチュービング株式会社	33	株式会社ロック・フィールド
17	株式会社日本ツアーサービス	34	和田興産株式会社
○	2022年度入会企業　12社	35	株式会社山上

© Presentation Design

外部環境

設立の趣旨（目的）「県下すべての大学による、すべての大学のためのコンソーシアム」
“国際性”を中核に、兵庫県及び神戸市の特性を活かしながら、高等教育機関が地域に不可欠な存在となることを目指して、教育・研究の充実と地域の行政や産業界との連携を図る。
地域社会の教育・文化の向上・発展に貢献し、あわせて教育環境の向上に寄与する。

内部環境

コンソの目指す姿　「Diversity, Equity & Inclusion」
～多様なメンバーが　学校を超えて　フラットに学び合い　繋がる～

ビジョン
大学間連携・産官学連携で「人が繋がり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

戦略
①情報共有と発信　②人的交流の促進　③ステークホルダーとの有機的連携

- 柱1　地域活性化に資する人材育成
- 柱2　グローバル教育支援
- 柱3　多元的学びの提供
- 柱4　運営体制の構築

目指す姿・ビジョン・戦略を実現するための　組織経営

事業委員会運営
委員長校・副委員長校・委員校

ひょうご産官学連携協議会
自治体・経済団体

事務局運営
14名(4種の雇用形態)　・可能性をつなぐ⤴

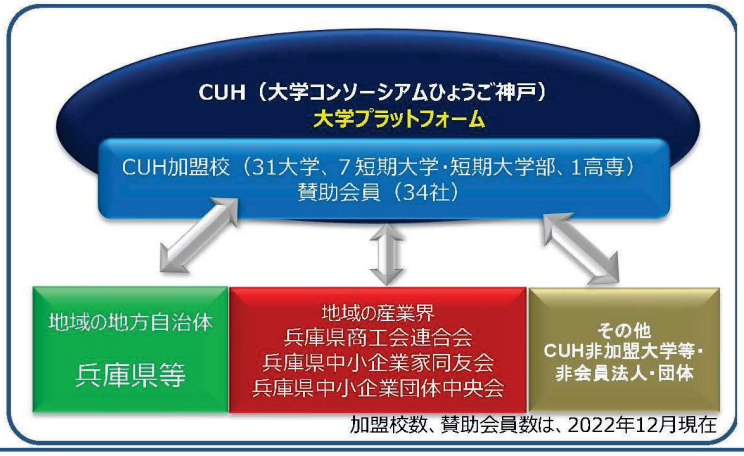
財政
加盟校・賛助会員・特別会員
（収入　約2000万円）

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

【基本方針】
ひょうご産官学連携協議会の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。
さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多元的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多元的な教育活動に寄与する計画とする。

【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」
・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
・人生１００年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



【取り組みの概要】

１．地域の活性化に資する人材育成のための連携
① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上
（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）
② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

２．“ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進

３．県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供
⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

４．県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築
⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考：大学コンソーシアムひょうご神戸　ホームページ_http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html

大学コンソーシアムひょうご神戸　組織図

加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

＊事業委員会の運営に関する申し合わせから抜粋

3-2．委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

（1）任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないよう配慮する。

（2）**国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制**とする。

（3）6事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。

（4）任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選択制】

①選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。

②事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

2023年～2025年の事業委員会　委員長校・副委員長校

中長期計画		Ⅰ期	Ⅱ期					Ⅲ期
役員改選期		第3期	第4期		第5期		第6期	
事業委員会体制(案)		2年間	1年間	3年間(1年間+2年間)			2年間	
		2020･2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
国際交流委員会	委員長校	神戸大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学				
	副委員長校	神戸市外国語大学･神戸常盤大学	神戸市外国語大学	神戸市外国語大学				
学生交流委員会	委員長校	神戸親和女子大学	神戸常盤大学	神戸常盤大学				
	副委員長校	甲南大学	神戸親和女子大学	神戸学院大学★				
教育連携委員会	委員長校	兵庫県立大学	神戸大学	神戸大学				
	副委員長校	大手前大学･兵庫医療大学	大手前大学	大手前大学				
高大連携委員会	委員長校	関西国際大学		関西国際大学				
	副委員長校	神戸松蔭女子学院大学	甲南大学･神戸松蔭女子学院大学	神戸親和大学★				
キャリア委員会	委員長校	関西学院大学		関西学院大学			神戸学院大学★	
	副委員長校	関西福祉･甲南女子大学･神戸国際大学		関西福祉大学･甲南女子大学･神戸国際大学				
FDSD委員会	委員長校	神戸学院大学		甲南大学★			神戸親和大学★	
	副委員長校	兵庫大学･神戸薬科大学		神戸市看護大学★				

★変更大学

キャリア委員会、FD･SD委員会の輪番制について

任期	キャリア委員会	FD・SD委員会
第6期（2026-27）	神戸学院大学	神戸親和大学
第7期（2028-29）	甲南大学	関西学院大学
第8期（2030-31）	関西国際大学	神戸学院大学
第9期（2032-33）	神戸常盤大学	神戸市外国語大学
第10期（2034-35）	神戸市外国語大学	神戸常盤大学
第11期（2036-37）	兵庫県立大学	神戸市看護大学
第12期（2038-39）	神戸市看護大学	神戸大学
第13期（2040-41）	神戸大学	関西国際大学
第14期（2042-43）	神戸親和大学	兵庫県立大学

備考：第15期以降は、状況の変化も想定されるため、第14期の理事校で決定する。

2022年度　実施事業について

課題②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

委員校　　：19校
委員長校　：関西国際大学
副委員長校：甲南大学・神戸松蔭女子学院大学

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施（ひょうご高校大学コンソーシアム）
2. 加盟校の魅力を情報発信

【高大連携委員会】19校

委員長校　：関西国際大学
副委員長校：甲南大学、神戸松蔭女子学院大学

関西学院大学	頌栄短期大学
聖和短期大学	園田学園女子大学
神戸大学	園田学園女子大学短期大学部
神戸海星女子学院大学	姫路獨協大学
神戸学院大学	兵庫大学
神戸親和女子大学	兵庫大学短期大学部
神戸常盤大学	兵庫医科大学
神戸常盤大学短期大学部	兵庫県立大学

ひょうご高校大学コンソーシアム

兵庫県下の高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催。本年度テーマは「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいのか」

参画者数　64名

合同進学説明会

大学への進路選択にむけて、高校生と保護者、高校教員等を対象とする共同の説明会（オンライン）を開催。奨学金に関する情報提供も実施

参画校21校

県内大学等の情報提供の実施
①まなびMap

加盟校の各大学の学部を一覧で掲載。
各大学にどのような学部があるかを情報提供

県内大学等の情報提供の実施
②オープンキャンパス情報掲載

HPにて加盟校のオープンキャンパスや学園祭情報を掲載

アンケート等の実施

・「探究学習」の実施状況並びに「進学説明会」ついてのアンケートを実施

・合同進学説明会のチラシ配布・案内：
県立・私立・市立高校等200校以上

→高校並びに教職員・学生に対して、加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する活動の継続

今年度の新規性

今年度から高等学校学習指導要領において新しく導入される「探究学習」について、継続性のある意見交換会を試みた

→経年で同一テーマでの意見交換を継続することで、一過性の意見交換にとどまることのない、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を期待できる

自己評価

・自己評価　**3/4　当初の計画を達成できた**

ひょうご高校大学コンソーシアム
参加者数：計64名（加盟校:20校42名、高校:14校17名、企業・団体:2社5名）

・理由
意見交換会を年1回以上開催　→　**達成**
目標参加校数20校以上を上回る**34校参加**

活動の満足度

・高大連携センターの役割や今後ますます発展しそうな連携の在り方が見えた。また、出張授業などがスキル別でリスト化されていることが素晴らしいと感じた

・本校も探究のデータベース等を作成したいと考えている。今後も積極的に作成に向けて取り組んでいきたい

・高校、大学双方の課題等を提示したうえで前向きに解決に向けた意見交換ができた

【参考】他事業委員会・企画運営委員会の取組

- ■国際交流委員会　28校
- ■学生交流委員会　25校
- ■キャリア委員会　24校
- ■教育連携委員会　24校
- ■FD・SD委員会　25校
- ■企画運営委員会　11校

大学間連携・産官学連携で
「人が繋がり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸“」

© Presentation Design

【国際交流委員会】28校

委員長校：兵庫県立大学　副委員長校：神戸市外国語大学

明石工業高等専門学校
芦屋大学
大手前大学
大手前短期大学
関西国際大学
関西福祉大学
関西学院大学
聖和短期大学
芸術文化観光専門職大学
甲南大学
甲南女子大学
神戸海星女子学院大学
神戸大学
神戸学院大学
神戸国際大学
神戸市看護大学
神戸松蔭女子学院大学
神戸女学院大学
神戸親和女子大学
神戸常盤大学
神戸常盤大学短期大学部
園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
姫路獨協大学
兵庫大学
兵庫大学短期大学部

英語でのキャリアイベント

「英語による」キャリアイベントを開催、優秀なグローバル人材の日本での就職率の向上に貢献することを目的に実施

「防災セミナー」外国人のための避難所体験

神戸国際コミュニティセンター及び神戸大学グローバル教育センターと協業して実施

英語村

大学生が企画し、中高校生等を対象に英語を通じたコミュニケーションの楽しさや学びを提供

学生海外派遣プログラム

1　医療・検査コース（アメリカ　ボストン）
2　看護コース（ネパール　カトマンズ）

新型コロナウイルス感染症の影響にて、中止
これまでの参加生徒の満足度も高い為、時期を見て再開を検討する

模擬国連演習
【NMUN（National ModelUnited Nations】

世界各地で行われている模擬国連活動の中で、最も権威のある本大会を、神戸市外国語大学がホスト校となり実施した

今年度の新規性

- 多文化共生の拠点として、外国人留学生と日本人学生が学生スタッフとして、企画・運営等を協働して行う組織を充実させた
（在籍学生スタッフ・16か国42名）
- 県内の国際交流機関との連携を強化し、より多くの地域の方や海外の方と加盟校学生が一緒に学び、交流する機会を提供した
- 日本での就職を希望する留学生に対して、就職に係る正確な情報提供と日本企業との交流の機会を提供し、留学生の日本での就職の意識を高めた

自己評価

- 自己評価　**4/4　当初計画を上回って達成**
- 理由
当初目標の各年参加者500名以上という目標を大きく上回る**約1,688名参加**という結果となった

・ファシリテーション　**全2回　145名**
・Let’s　talk with us　**全2回　72名**
・Get Ready for a Successful Job-Hunting in Japan　**全２回270名**
・キャリアカフェ　**全10回　934 名**
・防災セミナー　**40名**
・英語村　**全4回　169名**

大学間連携による協業事業

甲南女子大学・兵庫県立大学と協業。留学生との交流を通し、国際理解、コミュニケーション能力向上を目的に実施

【学生交流委員会】25校

委員長校：神戸常盤大学　副委員長校：神戸親和女子大学

芦屋大学
関西国際大学
関西学院大学
聖和短期大学
甲南大学
甲南女子大学
神戸大学
神戸海星女子学院大学
神戸学院大学
神戸松蔭女子学院大学
神戸女学院大学
神戸市看護大学
神戸女子大学
神戸女子短期大学
神戸常盤大学短期大学部
頌栄短期大学
園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
姫路大学
姫路獨協大学
兵庫大学
兵庫大学短期大学部
兵庫県立大学

【学生交流委員会】みなとまつり

兵庫県、神戸市、神戸青年会議所ほかが実行委員会を形成し、主催される「みなとまつり」に楽天ヴィッセル神戸と協力しブース出展

Autumn Festival in KOBE

地元企業であるマルヤナギ小倉屋と商品企画から販売促進・広報を協力し、加東市の特産品である「もち麦」を使用したドリンクのブース出展

ナガセケムテックスプレゼンツ ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト

地域の活性化に資する人材育成プログラムとして、地域スポーツ振興をテーマに、プロスポーツチーム・ヴィクトリーナ姫路が抱える事業課題の解決に向けたビジネスコンテストを実施

地域の活性化に関る加盟校学生の取組事例の紹介

大学コンソーシアムひょうご神戸HP「NOTE」に、「地域で輝く学生」と題して連載記事を掲載

多種多用な媒体での広報活動

学生自身がSNS、ラジオ出演にて広報活動。神戸新聞等の取材で学生の取組が紙面で紹介された

地域子育て支援拠点 こどもの居場所でのボランティア等活動

加盟校が連携して、コンソ加盟校の学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、そして学習成果を発表出来る場を提供

・自己評価　**3/4　当初の計画を達成できた**

・理由
WILL BEプロジェクトは当初の目的は10校50名の参加目標が、**17校151名の参加**

・みなとまつり　**11校52名**
・Autumn Festival in KOBE　**8校22名**
・地域子育て拠点等での
　ボランティア活動　**4校　7名**
・ヴィクトリーナ姫路　**10校70名**

活動の満足度

・自分たちでブースを企画・運営することは初めてだったが、とてもやりがいを感じた。お客様に喜んでもらえるのが何より嬉しかった

・みんなでひとつの目標・ゴールに向かって成し遂げようとする力が身についた。意見を出し合い、精査した上で何が最善なのか見極める力も身についた

・企画立案から実践までの間、失敗したことも多かったが、失敗から学んだことは多く、成功するための糧にすることができた

【キャリア委員会】24校

委員長校：関西学院大学
副委員長校：関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学

芦屋大学
大手前大学
大手前短期大学
関西国際大学
聖和短期大学
甲南大学
神戸大学
神戸海星女子学院大学
神戸学院大学
神戸松蔭女子学院大学
神戸親和女子大学
神戸常盤大学
神戸常盤大学短期大学部
園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
姫路獨協大学
兵庫大学
兵庫大学短期大学部
兵庫県立大学
流通科学大学

若手社員による学生啓発プログラム

「ライフキャリアを考える」、「合同模擬グループディスカッション・面接大作戦」を実施

県内企業の情報発信の強化

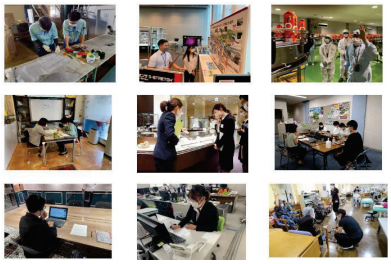
「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開中。今年度15社追加　**計152社掲載**

経営者による職業観形成プログラム

ZOOMオンラインにて「マイクロインターシップ」「グループディスカッションで学ぶ企業人事の採用視点」、対面にて「県内企業経営者・人事担当者との座談会」「社会人スタートダッシュ」を開催

ひょうご留学生インターンシップ

今年度で14年継続のプログラム



外国人向け合同説明会や就職活動準備講座の実施

企業とキャリアセンターとの意見交換会

合同企業説明会、企業×キャリア情報交換会（計7回）を開催

今年度の新規性

・昨年実施した「産官学連携によるリーダシップ育成講座」を発展させた「マイクロインターンシップ」を実施

・低学年留学生向けの就活準備講座の実施

自己評価

・自己評価　**3/4　当初の計画を達成できた**
・理由
今年度の目標参加者数500名を上回る**652名参加**
・大学キャリアセンターとの意見交換会
全5回　298名参加
・経営者/若手社員による学生啓発プログラム
全4回　277名参加

<留学生向け支援>
目標参加者数　500名を上回る**1,734名の参加**
・ひょうごインターシップ
修了生　**8大学43名　受入企業・団体22社**
・外国人向け合同企業説明会　**848名参加**

【教育連携委員会】24校

委員長校：神戸大学　副委員長校：大手前大学

大手前短期大学
関西国際大学
関西福祉大学
関西学院大学
聖和短期大学
甲南大学
神戸医療未来大学
神戸海星女子学院大学
神戸学院大学
神戸芸術工科大学
神戸市看護大学
神戸松蔭女子学院大学
神戸親和女子大学
神戸常盤大学
神戸常盤大学短期大学部
園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
姫路獨協大学
兵庫大学
兵庫大学短期大学部
兵庫医科大学
兵庫県立大学

単位互換

加盟校学生に幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や各校の特徴を活かした授業及び集中講義を中心に単位互換を実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下、授業形態の多様化により、履修者を増やす結果となった

・15校85科目開放
・履修者８校42名（対面31・オンデマンド10・オンデマンドとオンライン併用1）10/30時点

※2021年度　11校43科目開放、履修者8校29名

「単位互換包括協定書」締結大学の拡大

協定書締結大学　：35校
（29大学、6短期大学・部）

・2023年度科目開放に向けて、新たに1校が協定書締結

＜2022年度＞
34校（29大学、5短期大学・部）

広報ツールの作成

学生への周知拡大を図るため、神戸芸術工科大学学生が企画・デザインしたポスターとチラシを制作

各校において学内に掲示・配布し、広く学生に周知を行った

公開講座

17の公開講座を公開。235名(報告分)が参加

ICTを活用したコンテンツの検討

・大学eラーニング協議会共通基盤教育システムの試行継続
・教育コンテンツ提案ワーキンググループ（WG）

コロナ禍の影響で殆どの大学がオンライン授業を実施した中で、各大学の実情と課題について意見交換。外部講師を招いてオンライン教材の作成に関する講習会を実施し、新たな授業方法の工夫に向けて活動した

今年度の新規性

・包括協定書の見直し（遠隔授業科目を単位互換科目として位置づけることの明確化）により、昨年度よりも履修者が増加
→これまで距離的・時間的制約により履修者数が伸びなかったが、教育のICT化により単位互換事業も新たな段階に突入

・教育コンテンツ提案ワーキンググループを発足
→従来の対面授業形式が戻りつつある中、オンライン授業等、コロナ禍での新たな「選択肢」の大学教育への導入を総括。教育コンテンツの可能性と課題を今後に活かす議論を深めた

自己評価

・自己評価　　**3/4　当初の計画を達成できた**

・理由
■単位互換
履修者の送り出し校：目標5校　**実績８校**
開放科目数　：目標10科目　**実績85科目**

■公開講座
参加者数：目標50名　**実績235名**
講座数　：目標5件以上　**実績17件**
■**教育コンテンツ提案ワーキンググループ**
2回実施：1回目7校11名　2回目８校18名

活動の満足度

（単位互換事業について）
・大学のガイダンス・単位互換事業のポスターをきっかけに参加した。所属大学にない内容の授業がよかった

・学びたいことを学ぶことができ、とても貴重な経験になった。いつもの学生生活では出会えない人とも交流が持てた

【FD・SD委員会】25校

委員長校：神戸学院大学
副委員長校：神戸薬科大学、兵庫大学

芦屋大学
関西国際大学
関西学院大学
聖和短期大学
甲南大学
神戸大学
神戸海星女子学院大学
神戸市看護大学
神戸松蔭女子学院大学
神戸女子大学
神戸女子短期大学
神戸親和女子大学
神戸常盤大学
神戸常盤大学短期大学部
頌栄短期大学
園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
姫路獨協大学
兵庫大学短期大学部
兵庫医科大学
兵庫教育大学
兵庫県立大学

加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開

6大学合計13件の公開セミナー開催

合計　1015名が受講

＜開催校＞
大手前大学　1件
関西学院大学　1件
神戸学院大学　7件
神戸常盤大学　1件
神戸薬科大学　1件
兵庫大学　2件

「大学運営」に関する科目の受講支援

・関西学院大学経営戦略研究科ビジネススクールにて2016年から大学職員向けのSDとして開設科目「大学運営」に関する科目の受講支援を行った
加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供できた

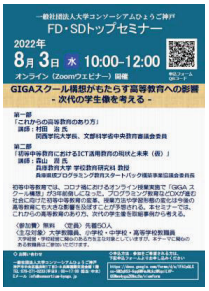
受講者　4校8名

トップセミナー

「GIGAスクール構想がもたらす大学教育への影響 -次代の学生像を考える-」をテーマに開催

「これからの高等教育のあり方」「初等中等教育における情報教育・ICT活用教育の現状と未来」について講演・意見交換を行った

参加者　113名



内部品質保証セミナー

「今こそ、基本的な考え方に立ち返り、実質化を考えたい！」と題して開催。
「内部質保証に関する基本的な考え方」「内部質保証に関する要件と課題・GPについて」「認証評価基準や認証評価結果」に関する講演と意見交換会を開催

参加者　35名

内部質保証セミナー ～教学データ活用実習～

「内部質保証」や「IR」に関するセミナーを継続的に開催。
「教学データの扱い方」をテーマに実務に役立つ「Excelだけでできるデータ活用実習」を開催

参加者17名

今年度の新規性

・加盟校からのセミナー情報の提供方法としてWebフォームを導入。登録手続きの利便性と簡便化を図ることで、セミナー公開の活性化を目指した

・トップセミナーはテーマを高等教育だけでなく、初等中等教育も含めた視点を加えることで、教育の中長期的な計画について議論を行った

→授業方法や学習形態等の教育変化に直面するなか、教育課題を明確化し、教育改革のための新しい視点を持つ機会が提供できた

自己評価

・自己評価　**4/4　当初の計画を上回って達成できた**

・理由
FDSDセミナー目標参加者数 100名を上回る
1015名が参加

FDSDセミナー件数 目標5件を上回る**13件**の開催

情報交換会、セミナーの年3回開催　→　**達成**
情報交換会、セミナー目標参加者50名を上回る
165名が参加

活動の満足度

・高等教育の課題を高等教育と初等中等教育の両面から俯瞰でき、わかりやすく、より理解が深まった研修会であった

・具体的な事例を伺い、本学でのデータ活用の糸口になった

・講師と参加者との情報交換が有益だった。今後も様々なテーマについて情報交換ができる場の設定をお願いしたい。とても勉強になった。また人脈づくりにもなり大変貴重な場となった

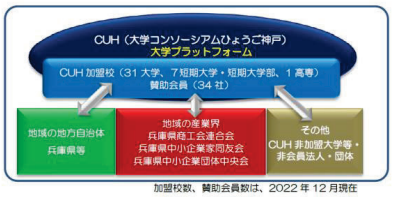
【企画運営委員会】リカレント教育の普及促進

リカレントフォーラムの開催やHP上で各校のリカレント講座情報を掲載
参加者数　143名

大学・地方自治体・企業・地域団体との連携体制構築①

ひょうご産官学連携協議会にて定期的に意見交換
また、地域住民の方の参加を対象に報告会も開催

［体制］　プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



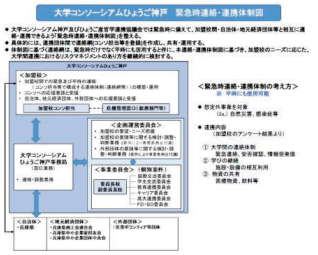
加盟校数、賛助会員数は、2022 年 12 月現在

大学・地方自治体・企業・地域団体との連携体制構築②

賛助会員と加盟校の懇親会を、神戸ポートピアホテルにて開催。あたらに賛助会員に入会くださった**11社**を含む、**97名**の方々にご参加頂きました

緊急時の加盟校間の協力・情報共有体制の構築①

緊急時連絡・連携体制図の作成

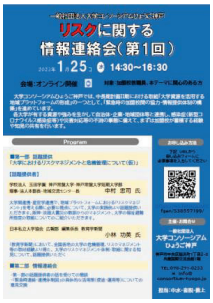


緊急時の加盟校間の協力・情報共有体制の構築②

「リスクに関する情報交換会」にて、具体的な運用について議論

加盟校が蓄積する経験や知見の共有を行う

参加者数51名



加盟校が活性化する事業運営体制の整備・推進

企画運営員会にてコンソの運営体制についておよそ月1回開催し議論を実施

＜議題　例＞
- 中長期計画Ⅱ期について
- 事業委員会体制について
- 事業委員会　予算・決算について
- リスクマネジメント体制について
- リカレント教育について
- 私立大学等改革総合支援事業　申請について

など

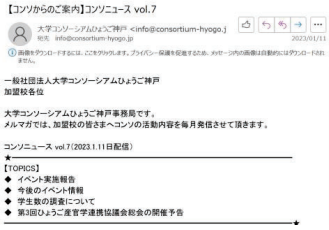
加盟校専用ページの開設

学長就任情報の入力、各委員会の会議資料・議事録、HPの掲載依頼、メルマガ等掲載

※各事業委員会のパスワードは「Consome」です

メルマガの配信

月1回のペースで「コンソニュース」と題して、コンソの活動内容を配信



NOTEへの活動報告の掲載

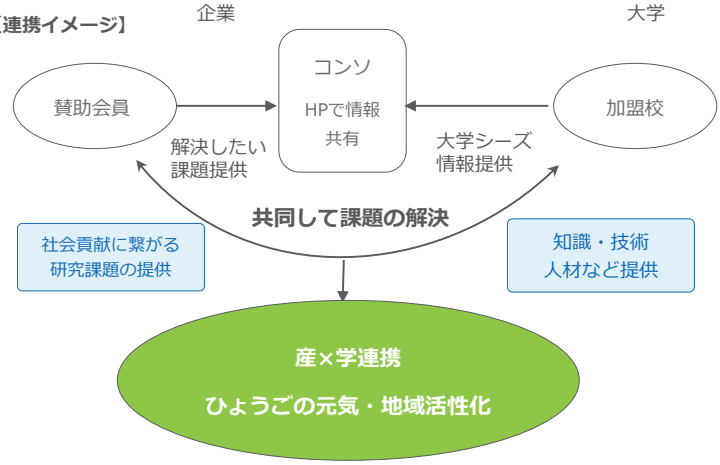
NOTEにこて加盟校学生の活動やコンソイベントの報告などを掲載

課題解決プログラムのご案内

企業・団体の課題解決を通じて、研究・教育への取組を検討されている大学教職員と企業を繋ぐ。
兵庫の元気・地域活性化に向けて、双方の「学び」を繋ぐ。

【背景】

【連携イメージ】



【賛助会員側のメリット】

- 自社の課題解決
- 幅広い専門分野の知識や経験を備えた人材（研究者等）との交流
- 学術的な視点を取り入れた事業展開を可能に
- 連携後も大学側とのネットワークが広がる

【加盟校側のメリット】

- 自学の研究シーズを活用して頂くことで地域社会に貢献
- 市場につながる企業とのネットワークの構築
- 兵庫県下の多くの魅力的な企業と学生との交流
- 企業から出された「具体的な課題」に対して、大学生がゼミの専門性（研究テーマ）を生かして実践的な研究活動を実施

【連携想定例】

①自社ブランドの知名度向上を目指して、大学のマーケティング専攻の教授、及びゼミ生と共同して取組む。

②観光会社が新たなツアー先の追加について、現代社会のメカニズムを研究している教授、及びゼミ生と共同して取組む。

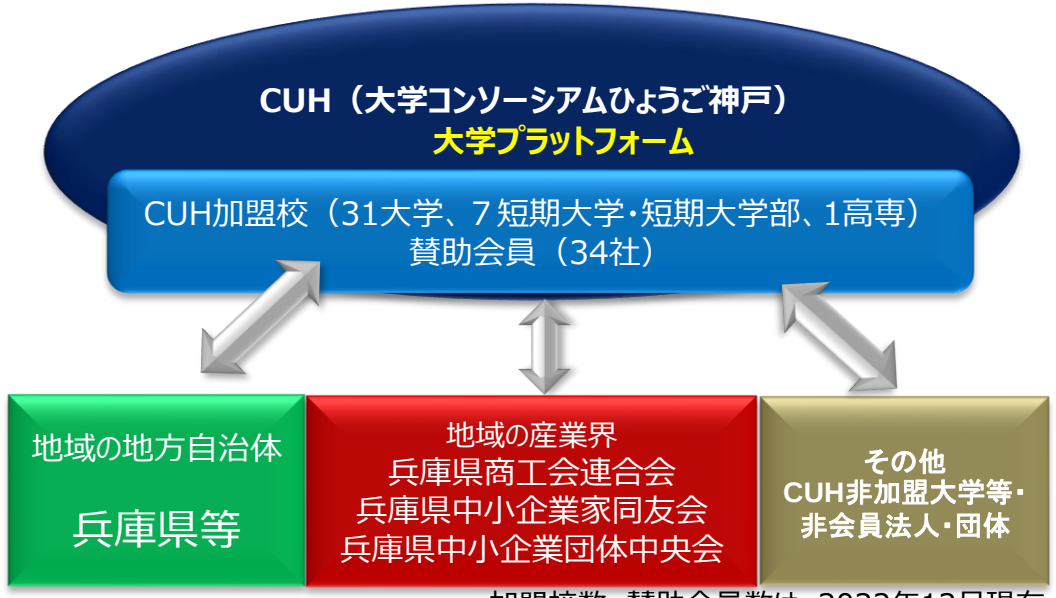
一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

資料2-2

【基本方針】
ひょうご産官学連携協議会の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。
さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多元的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多元的な教育活動に寄与する計画とする。

【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」
・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
・人生１００年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は、2022年12月現在

【取り組みの概要】

１．地域の活性化に資する人材育成のための連携
① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上
（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）
② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

２．“ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進

３．県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供
⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

４．県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築
⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考：大学コンソーシアムひょうご神戸　ホームページ_http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸　中長期計画Ⅱ期（2022～2026）について

ビジョン・目標	大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する”ひょうご神戸” ■兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに「若者が育ち、活躍する県」であるメッセージを発する ■人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信 ■大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす ■産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築
重点項目	①情報の共有と発信　②人的交流の促進　③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携

■以下、「4つの柱」に基づいて、「10課題・18取組」を7委員会（国際交流、学生交流、教育連携、高大連携、キャリア、FD・SD、企画運営）において実施

柱		課題		取組	担当委員会
柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	課題①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上	1）大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト 2）県内企業・団体等の魅力を情報発信	キャリア
		課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	1）大学と高等学校の意見交換会の実施 2）加盟校の魅力を情報発信	高大連携
		課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	1）テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 2）加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施	学生交流
柱2	“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル教育支援	課題④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進	1）留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	キャリア
		課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進	1）兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 2）加盟校の国際交流プログラムとの連携促進	国際交流
柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供	課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進	1）加盟校間でのFD・SDセミナーの公開 2）FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	FD・SD
		課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	1）単位互換事業の実施 2）多様な学修機会の提供	教育連携
		課題⑧	県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進	1）リカレント教育の普及促進に向けた取組 2）加盟校のリカレント教育に関する情報発信	企画運営
柱4	県内大学が活性化する大学連携組織としての運営体制の構築	課題⑨	大学資源を活用する地域プラットフォームの形成	1）大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 2）緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	企画運営
		課題⑩	県内大学が活性化する事業運営体制の整備	1）加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	企画運営

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸　中長期計画Ⅱ期
（２０２２年度～２０２６年度）

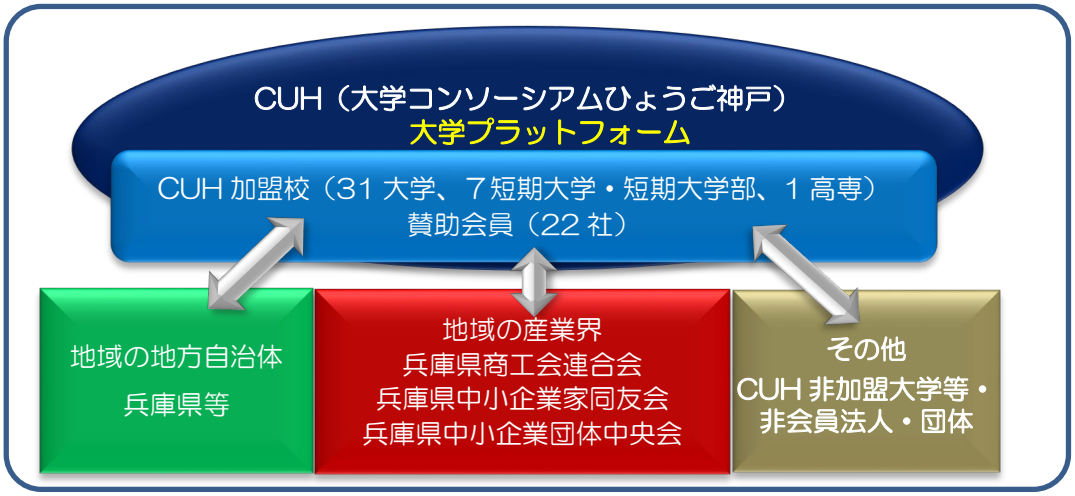
一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、１８歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多元的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多元的な教育活動に寄与する計画とする。

[ビジョン・目標]
　大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発するとともに、人生１００年時代を迎え、多様な学びを提供する大学コンソーシアムひょうご神戸の取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信する。兵庫県内の若者人口の増加、大学教育・地域創生への貢献が明確に可視化される活動を展開する。
大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす。
大学コンソーシアムひょうご神戸が、大学間連携組織の特徴を生かして、産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築する。そのために以下の４つの柱での取組事業を実施する。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携
2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供
4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

[体制]　　**プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会**



加盟校数、賛助会員数は、2021 年 12 月現在

[具体的な取り組み内容]
上記の課題を踏まえ、中長期的な目標を設定し、①情報の共有と発信②人的交流の促進③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携の３つを重点項目として取り組む。

１．地域の活性化に資する人材育成のための連携

①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上

（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）

【取組１】大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施
（目標）各年参加者数 500 名以上
（内容）兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業への就職率』は、３割弱に過ぎず、７割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。
（担当）キャリア部門

【取組２】県内企業・団体等の魅力を情報発信
（目標）情報公開企業・団体数１２０社以上
（内容）地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。
（担当）キャリア部門

②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

【取組１】大学と高等学校の意見交換会の実施
（目標）各年参加校数２０校以上
（内容）教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。
（担当）高大連携部門

【取組２】加盟校の魅力を情報発信
（目標）各年情報提供先数　高等学校等 200 か所以上

（内容）加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。
（担当）高大連携部門

③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

【取組１】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施
（目標）各年参加者数 50 名以上
（内容）他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。
（担当）学生交流部門

【取組２】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施
（目標）情報公開数 200 取組以上
（内容）加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねることにより、本計画期間内で 200 取組以上を紹介する。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。
（担当）学生交流部門

２．“ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援

④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進

【取組１】留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施
（目標）各年参加者数 500 名以上
（内容）“ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指した事業を展開する。プラットフォームを活用した留学生就職促進事業として、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの留学生の受入環境づくりを促進し、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。
（担当）キャリア部門

⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進

【取組１】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施
（目標）各年参加者数５00 名以上
（内容）兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業（日本学生支援機構委託事業）にお

いて、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成することを推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。

（担当）国際交流部門

【取組２】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

（目標）プログラム数１０件以上

（内容）大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。

（担当）国際交流部門

3．県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供

⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

【取組１】加盟校間での FD・SD セミナーの公開

（目標）各年セミナー数５件以上

（内容）加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

（担当）FD・SD 部門

【取組２】FD・SD 情報交換会、セミナー等の開催

（目標）各年参加者数 50 名以上

（内容）加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

（担当）FD・SD 部門

⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応

【取組１】単位互換事業の実施

（目標）各年開放科目数 10 科目以上

（内容）加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。

（担当）教育連携・教務部門

【取組２】多様な学修機会の提供

（目標）各年プログラム数５件以上

（内容）加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する（ICT を活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等）。
（担当）教育連携・教務部門

⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

【取組１】リカレント教育の普及促進に向けた取組
（目標）各年参加者数 50 名以上
（内容）加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。
（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

【取組２】加盟校のリカレント教育に関する情報発信
（目標）各年 10 校以上
（内容）大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。
（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

４．県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

【取組１】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築
（目標）大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充
（内容）兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。
（担当）企画運営委員会

【取組２】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築
（目標）緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築
（内容）感染症（新型コロナウイルス感染症等）や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有する。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。
（担当）企画運営委員会

⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備

【取組１】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

（目標）加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

（内容）加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。

（担当）企画運営委員会

上記の中長期計画に基づき、各年度毎の事業計画を別途作成し、各プログラムの具体的な活動指標を個別に定めて事業を推進する。なお、中長期計画を実施する計画ならびに担当については、年度毎の見直しにより変更することがある。

以　上

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸（以下「コンソ」という。）定款第 38 条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) 正会員の教職員で、原則 2 名（教員 1 名、職員 1 名）。

(2) 毎年度、第1回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

(1) 事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。

(2) 委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。

(3) 副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

(1) 任期は 2 年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないよう配慮する。

(2) 国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及び FD・SD 委員会の委員長校の選考は輪番制とする。

(3) 6 事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。

(4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選択制】

①選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。

②事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

①選択制 4 事業委員会の正副委員長及び輪番制 2 事業委員会の委員長については、原則として、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。

②選択制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。

③1大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

【経過措置】
①委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023 年度より選択制及び輪番制を導入する。
②委員長校及び副委員長校の任期については、2023 年度からの担当期間を原則として 3 年間（2023 年度～2025 年度）とする。
③2026 年度～2027 年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて 2025 年度後期に検討するものとする。

4. 事業委員会の任務
(1) 事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告（自己評価）を行い、情報を共有する。

5. 事業委員会の招集・議事
(1) 事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
(2) 事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則 2 名の委員」に拘らず、計 3 名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

6. 成立要件（定足数）
(1) 事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
(2) 委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
(3)「委任状」の制度は用いない。
(4) 事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

7. 議決権及び議決数
(1) 正会員あたり各 1 個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

8. プログラム担当校
(1) 事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
(2) プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告（自己評価）を行う。
(3) 委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

9. 事業委員会事務局
(1) 事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局（委員長校・副委員長校）が連携して行う。

10. 改廃
この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則
この申し合わせは、2019 年4月1日から施行する。

附則
(1)この申し合わせは、2022 年4月 1 日から施行する。
(2)「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022 年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め 1 年とする。

附則
この申し合わせは、2023年4月 1 日から施行する。

以 上

資料３

【2023年度　高大連携委員会　事業計画】

委員長校　:関西国際大学

副委員長校:神戸親和大学

委員校:関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、
神戸松蔭女子学院大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、
園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学　計18校

＜目的＞
大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1．地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。
【取組課題②】県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

＜内容＞　取組課題②に対する「個別取組」は、下記の通り。

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施
教育委員会等と連携して、兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行う。

2. 加盟校の魅力を情報発信
加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。
生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

上記の取組について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5ヵ年において段階的に取り組む。
期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討して事業推進を行う。

＜期待される効果＞

1.大学と高等学校の意見交換会の実施
兵庫県立高等学校と設置した意見交換の場「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、県下大学と高校の高大連携をめぐる多くの課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通した人材育成の取り組みを促進する。大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークを構築が期待できる。

2. 加盟校の魅力を情報発信
高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と大学で主体的に学び続ける意欲を高める効果が期待できる。

課題②　県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続		予算額
取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	200,000円
取組2	加盟校の魅力を情報発信	300,000円

【2023年度　高大連携委員会　事業計画（課題②取組1）】（案）

【②取組1】達成目標	各年参加校数20校以上
【②取組1】活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
達成目標 【②取組1】	各年参加校数20校以上
課題を解決する 取組概要 【②取組1】	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」
活動指標 【②取組1】	意見交換会等の実施/年1回以上
内容 （ 計画 ）	「ひょうご高校大学コンソーシアム」の開催 兵庫県下の県下高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催する。 ・県下大学と高校の高大連携をめぐる具体的な課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通した人材育成の取り組みを促進する。 ・2016年から実施している本取組を継続開催することで、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を図る。
新しい試み等 （事業計画に記載）	

事業収支	収入（円）	支出（円）	収支（円）	備考
	200,000円			

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	（各事業委員会にて、4段階評価と検証結果（問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載）			

■自己評価基準（対到達目標）
4：当初計画を上回って達成
3：当初計画を達成
2：当初計画をやや下回った
1：当初計画を下回った

■自己評価基準（対継続性）
4：本プログラムは継続すべき
3：本プログラムは継続しても良い
2：本プログラムの継続には改善が必要
1：本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 （次年度事業計画に反映）	（企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック）

【2023年度　高大連携委員会　事業計画（課題②取組2）】（案）

【②取組2】達成目標	各年情報提供先数　高等学校等200か所以上
【②取組2】活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
達成目標 【②取組2】	各年情報提供先数　高等学校等200か所以上
課題を解決する 取組概要 【②取組2】	加盟校の魅力を情報発信
活動指標 【②取組2】	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上
内容 （ 計画 ）	1、県内大学等の情報提供の実施 高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と、主体的に学び続ける意欲を高めるべく、大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページに「オープンキャンパス」「まなび発見マップ」「探究学習」「学園祭」等の情報を掲出する。
新しい試み等 （事業計画に記載）	高大連携に関する情報共有の一環として、ホームページでの掲出方法やデザインを改善し、生徒が加盟校の情報をより分かりやすく得られるようにする。

事業収支	収入（円）	支出（円）	収支（円）	備考
	300,000円			

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	（各事業委員会にて、4段階評価と検証結果（問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載）			

■自己評価基準 （対到達目標）	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	■自己評価基準 （対継続性）	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 （次年度事業計画に反映）	（企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック）

2023年度 高大連携委員会　事業予算

（単位：円）

		予算	各プログラム　予算				委員会　予算	
			取組1		取組2			
			大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高校大学コンソーシアム」		加盟校の魅力を情報発信			
			内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額
収入	会費収入	600,000		200,000		300,000		100,000
	助成事業収入							
	受託事業収入							
	プログラム収入							
	雑収入							
	戻入金							
	計	600,000		200,000		300,000		100,000
支出	会議費	10,000					お茶代等	10,000
	旅費交通費	30,000	交通費	20,000			旅費交通費	10,000
	通信運搬費	100,000			通信費等	90,000	通信運搬費等	10,000
	消耗品費	15,000	消耗品	5,000			消耗品	10,000
	新聞図書費	10,000					参考図書	10,000
	印刷製本費	35,000			チラシ等	35,000		
	光熱水料費	0						
	賃借料	35,000	会場費	35,000				
	保険料	0						
	謝金	315,000	謝金	140,000	謝金	175,000		
	租税公課	0						
	支払手数料	10,000					振込手数料	10,000
	諸会費	10,000					フォーラム等参加費	10,000
	委託費	30,000					各プログラムHPに係る予備費	30,000
	人件費	0						
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
	雑費	0						
	計	600,000		200,000		300,000		100,000

収入－支出	

資料４

「ひょうご高校大学コンソーシアム」
2014 年度～2022 年度（平成 26 年度～令和 4 年度）開催内容について

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

●2014 年度（平成 26 年度）「ひょうご高校大学コンソーシアム」初開催

兵庫県教育委員会と連携した取組として、高校と大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校による初めての意見交換会「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催。高校教育、大学教育の一体的な高大連携のため、県下の高等学校、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校、兵庫県教育委員会が連携して、高大連携・高大接続をめぐる多くの課題について継続的に意見を交換し、協力して様々な課題に取り組むこととなった。

〇日時・場所：2014 年 11 月 25 日（火）14:00～16:00・兵庫県立大学神戸商科キャンパス

〇参加者 53 名（高校 22 校 23 名、加盟校 25 校 29 名、コンソ事務局 1 名）

●2015 年度（平成 27 年度）「円滑な高大高大連携に向けて」講演会

講師：文部科学省　高等教育局　主任大学改革官　新田正樹

大学入試センター試験・研究統括官　教授　大塚雄作

日本私立学校振興・共済事業団　私学経営情報センター　副主幹　南浩司

〇日時・場所：2016 年 2 月 2 日（火）13:30～16:30・兵庫国際交流会館

〇参加者 100 名（高校 41 校 47 名、加盟校 15 校 36 名、他 17 名）

●2016 年度（H28 年度）「高大接続改革の行方」

1.講演「高大接続改革の行方」関西国際大学　学長　濱名篤

2.グループに分かれての意見交換

・高校教育の現状・高大接続教育、高校の授業、大学の授業の在り方・大学の入学前教育

・大学での授業の受講（高校での単位認定と大学での単位認定）・大学教育への期待

・大学入試改革・その他、高大連携に関すること

3.「文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業（主体性等分野）について」のご案内

話題提供者：関西学院大学　高大接続センター　課長補佐　山田高幹

4.各グループ意見交換内容の発表

〇日時・場所：2017 年 3 月 7 日（火）14:00～17:00・兵庫国際交流会館

〇参加者 52 名（高校 24 名、加盟校 25 名、コンソ事務局 3 名）

●2017 年度（H29 年度）「新学習指導要領と高大接続について」

1.講演「新学習指導要領と高大接続について」

文部科学省　初等中等教育局　教育課程課　教育課程企画室　室長　白井俊

2.グループに分かれての意見交換

①大学入学者選抜方法の変更による中等教育（高等学校教育）への影響と大学における入試改革

②新学習指導要領が高等学校や大学の教育に及ぼす影響

③学習評価の改善方法（多面的総合的評価におけるポートフォリオ(キャリアノート)の活用など）
④アクティブラーニングの導入およびその授業実践
⑤「出前授業」等の大学の授業の受講
（高校在学時に大学の授業を受講することの有意性、受講時の問題）
⑥「教育の情報化」と新しい情報技術を活用した教育
⑦大学が入学予定者に対して行う準備教育（入学前教育）の内容
〇日時・場所：2017 年 12 月 26 日（火）13:30～17:00・関西国際大学尼崎キャンパス
〇参加者 80 名（高校 32 名、加盟校 46 名、コンソ事務局 2 名）

●2018 年度（H30 年度）「2021 年度入学者選抜要綱の見直しへの対応についての意見交換会」

1.意見交換会（2 つのグループに分かれて、テーマ別に高校と大学間で意見交換）
グループⅠ「一般選抜」
① 「学力検査」と学力の三要素の多面的・総合的な評価の方法
② 英語の4技能評価のための外部試験の活用③出願書類等とその選抜への活用
グループⅡ「総合型」および「学校推薦型」選抜
① 調査書、推薦書など出願書類とその選抜への活用
②本名の記載する書類とその選抜への活用③「学力検査」などによる学力の評価方法
2.意見交換の報告およびパネルディスカッション（質疑応答）
「出願書類等のフォーマット共通化について」
パネリスト　三木高等学校　校長　前田哲男、播磨高等学校　教頭　家氏宏育、
兵庫医療大学　教授　日高正巳
コーディネーター　関西国際大学　副学長　浅野考平
〇日時・場所：2018 年 10 月 16 日（火）15:00～18:00・兵庫国際交流会館
〇参加者 70 名（高校 37 名、加盟校 30 名、コンソ事務局 3 名）

●2019 年度（平成 31 年・令和元年度）「2021 年度大学入学者選抜改革の行方と新学習指導要領について」

1.講演「2021 年度大学入学者選抜改革の行方と新学習指導要領について」
独立行政法人大学入試センター　試験・研究統括補佐官（兼）審議役　白井俊
2.パネルディスカッション
〇日時・場所：2019 年 3 月 10 日（火）15:00～18:00・兵庫国際交流会館 3 階多目的ホール
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

●2020 年度（令和 2 年度）「コロナ禍における学びと教育現場の対応について」

1.講演「高大接続に関わる立場から見える、コロナ禍における学びと教育現場の課題」
NPO 法人 NEWVERY 理事　倉部史記
2.意見交換（コロナ禍における学びと教育現場の対応について）
〇日時・場所：2021 年 2 月 25 日（木）15:00～17:00・オンライン会議システム（ZOOM）
〇参加者 25 名（高校 7 校 7 名、加盟校 9 校 14 名、他 1 名、コンソ事務局 3 名）

●2021 年度（令和 3 年度）「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいのか」

1.講演「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいのかー東京の 6 年制私立中高の実践から」
関西国際大学　准教授　元品川女子学院　教頭　石井豊彦氏

2.「探究学習と高大連携」の取り組みに関する話題提供と意見交換

（話題提供校・提供者）加盟校 3 校・県立高等学校 3 校

■「兵庫大学の探究学習パッケージ」兵庫大学　高等教育研究センター　岩田薫

■「探究学習と高大連携について」神戸大学　教授　伊藤真之

■「高大連携と探究学習」関西国際大学　学長補佐　教授　福島一政

■「総合的な探究の時間について」尼崎稲園高等学校　教諭　福舛幸一・湊谷宗行

■「学校全体での「探究学習」の取り組み～大学への期待!!」尼崎小田高等学校　教諭　福田秀志

■「探究学習」三木北高等学校　教諭　仁木英貴

〇日時・場所：2021 年 12 月 9 日（木）13：30～16:30・オンライン会議システム（ZOOM）

〇参加者 45 名(高校 17 校 21 名・加盟校 16 校 20 名、兵庫県教育委員会 1 名、コンソ事務局 3 名）

●2022 年度（令和 3 年度）「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいのか」

1.講演「高校『探究活動』」の設立の経緯と研究者の実際の研究課程の分析に基づく
理科の探究の指導法の改善課題」 甲南大学 理工学部 地学研究室 教授 林慶一

2.「探究学習と高高高大連携」の取り組みに関する話題提供と意見交換

（話題提供校・提供者）加盟校 2 校・県立高等学校 2 校

■神戸大学　高大接続卓越グローバル人材育成センター　教授　伊藤真之

■関西国際大学　高大連携センター長　前田哲男

■福崎高等学校　校長　齋藤勝

■姫路東高等学校　教諭　菅生智文

ファシリテーター　甲南大学　高大接続推進企画運営委員長　茶山健二

〇日時・場所：2022 年 12 月 12 日（月）13：30～16:30・オンライン会議システム（ZOOM）

〇参加者 64 名（高校 14 校 17 名、加盟校 20 校 42 名、兵庫県教育委員会 2 名、コンソ事務局 3 名）

※敬称略、文中の所属・役職等はすべて開催当時のものです

以上